



春江だより

1月号

令和8年1月8日

江戸川区立春江小学校

2026年 前へ前へと進む年に

校長 小林 麻子

新年、あけましておめでとうございます。

2026年は十二支で「午年（うま）」、干支は「丙午（ひのえ・うま）」の年です。丙午は60年に一度巡ってくる特別な年で、「丙」は火の陽を表し、情熱やエネルギーを象徴します。

「午」はスピード感や行動力を意味します。丙午の年は新しい挑戦や積極的な行動がカギとなると言われています。力強く地面を蹴って前へ前へと進む馬のように新しい年が春江小学校の子供たちにとって素晴らしい年になることを願っています。

「前へ前へと進む」正月の恒例行事といえば、箱根駅伝。私は子供の時から正月2日間は家族で箱根駅伝を観るのが恒例で、今でも続いています。朝8時に大手町をスタートし、往路5人復路5人総勢10人の大学生が、一本のたすきを力を合わせてつなぐところに大きな魅力を感じます。

217.1kmをたすきが途切れてしまわないよう走り続けることは、相当なプレッシャーがかかっていると思います。そんな中、力を振り絞り歯を食いしばって走る表情、たすきをつないで倒れこむ選手、たすきが途切れてしまい泣き崩れる選手をみると、これまでどれほど練習を積み重ねたのか、監督や仲間とどんな思いでここまで来たのかなど彼らの背景にある努力、数えきれないほどの苦悩を乗り越え、選手たちの目標へのつながる想いに感情移入し、毎回感動を覚えます。選手10人をつなぐたすきは見えないところで他の人にもつながっており、監督、補欠選手、選手を支えるスタッフ、家族…多くのつながりの上に駅伝は成り立っていることを感じながら今年も観戦しました。

さて、春江小学校は今年度が開校60周年の年であり、昨年から周年関係行事を実施してまいりました。行事や取組を通して学校の60年間の歴史を振り返ると、春江小学校を支えてくださっている方々の想いがたすきとなってつながって今があるということを改めて感じました。これまでの伝統を引き継ぎながら前へ前へと進むエネルギーッシュな1年にすべく、教職員一同全力で邁進してきたいと思います。本年もご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

先月は「令和7年度 学校の教育活動についてのアンケート」にご協力いただきまして、ありがとうございました。いただきましたご意見、ご感想を参考にさせていただき来年度の教育活動の充実を図っていきます、結果につきましては、後日、totoru等にてお知らせします。